

**1 学校教育目標**

考える子（知）      心豊かな子（徳）      たくましい子（体）

**2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像**

○学校像	・学力の向上に取り組む学校	・居心地のよい学校づくりに取り組む学校	・体力向上に取り組む学校
○児童・生徒像	・考える子	・心豊かな子	・たくましい子
○教師像	・授業改善を推進する教師	・児童の可能性を引き出す教師	・子供と共に汗を流す教師

**3 学校の現状及び前年度の成果と課題**

[学校の現状]  
 ○児童について      ほとんどの児童に基本的な生活習慣が身についている。一方、放課後における金銭トラブル等生活指導上の課題が見られる児童がいる。  
 ○教師について      若い教員や経験年数の浅い教員が多いが、学ぼうとする意識は高い。どの学級も比較的落ち着いた学級経営ができています。  
 ○保護者・地域について      家庭や地域は学校に対し概ね協力的である。行事の際もボランティアで協力する保護者が増えてきた。

[前年度の成果と課題]  
重点的な取組事項-1  
 ・4月の区学力調査において達成率は国語、算数ともに 83.9%と前年の数値を上回ったが、学校目標値の 85%以上を達成することができなかった。  
 ・定着度テストにおいて全学級正答率 80%以上は達成できなかった。AIドリルを活用した繰り返し学習などを効果的に取り入れていく。

重点的な取組事項-2  
 ・意識調査の結果では「自己肯定感」の低い児童が多い。道徳の授業を中心とした道徳教育を充実させ、一人一人の良さを認め伸ばす指導を実践していく。  
 ・「不登校」「いじめ」などの発生件数を0にすることができなかった。組織的に対応し、家庭や関係機関との連携を密にしながら未然防止と解消に努める。

重点的な取組事項-3  
 ・都の体力調査の結果では平均値を上回る項目が増えてきたが、「投力」「走力」がまだ低い。年間を通じた体力向上の取組を実践していく。

**4 重点的な取組事項**

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな体の育成	○	○	○	○	○

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の定着率向上と授業の質の向上を図る。		4月目標 両教科 85%以上 年度末目標 両教科 80%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習	全児童 国・算	毎週 火～金 曜実施 始業前 15分	【指導者体制】 担任 【取組のねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 AIドリル(Qubena)・自作教材 等	日々の授業 単元テスト等 到達度確認テ スト	年間を通じ、全 学年の漢字テス ト・計算テスト等 の正答率平均8 0%以上。			
2 継続	放課後 補習	全学年 国・算 補習を必 要とする 児童	通年 放課後	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 基礎的・基本的な内容の定 着、現学習単元の補充 【使用教材】 既習内容のプリント・AIドリル (Qubena)等	日々の授業 単元テスト等 到達度確認テ スト	2月の確認テス トで国語・算数 共に正答率を1 0%以上アップさ せる。			
3 継続	AIドリル (Qubena)・I CT機器の 活用 [授業改善]	全学年 全教員	通年 授業の 中で計 画的に 活用	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 ICT機器を活用し、わかる授 業・児童が主体的に学ぶ授 業を行う。 【使用教材】 ICT機器・AI ドリル(Qubena) 等	週案等で活用 状況を確認	1日1回以上 AI ドリル・ICT 機器 を活用した授業 を行う。			

4 継続	授業力 向上	全教員 全教科	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 主体的・対話的で深い学び の実現に向け、指導方法に ついて研究する。 経験年数5年未満の教員 は、教科指導専門員の指導 を受け、指導力の向上を図 る。	児童意識調査	区調査の「学校 での授業がわか る」「学校の授業 は楽しい」の項 目に肯定的に 回答した児童8 0%以上		
5 継続	小中連携	全教員 全教科	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 研究授業を行うことで指導力 の向上を図る。 分科会ごとに研究授業を行 う。	児童意識調査	区調査の「学校 での授業がわか る」「学校の授業 は楽しい」の項 目に肯定的に 回答した児童8 0%以上		
6 新規	校内研究 算数科 [授業改善]	全学年 全教員	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 主体的・対話的で深い学び の実現に向け、算数科の授 業から指導方法について研 究する。 【使用教材】ICT機器 等	児童意識調査	区調査の「学校 での授業がわか る」「学校の授業 は楽しい」の項 目に肯定的に 回答した児童8 0%以上		

<b>重点的な取組事項－2</b>		豊かな心の育成			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
児童の豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が 4項目とも「おおむね達成」以上			
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>

道徳教育・特別活動の充実	・意識調査の「自己肯定感」の項目で80%以上の児童が肯定的回答	・道徳の授業を中心とした全教育活動における質の高い道徳教育の実践。 ・年間35時間以上、道徳の授業の確実な実践。 ・行事への児童の主体的な関わりと、事前事後指導の実践。			
いじめ防止 不登校への早期対応	・年度末でのいじめ解消率100%。 ・不登校0、少なくとも前年度より減 ・「学校は楽しい」の調査項目で80%以上の児童が肯定的回答	・人権教育プログラムを用いた人権に関する研修の実施。 ・毎週金曜に生活指導夕会を実施し情報を共有。 ・全教員での生活指導全体会を実施し情報を共有。 ・関係機関との連携。			
「みそあじ」の徹底	・意識調査の「基本的生活習慣」の項目で90%以上の児童が肯定的回答	・「身だしなみ、掃除、挨拶、時間を守る」の項目について、全校統一して指導をする。			
読書活動の充実	・年間読書冊数、全校で4万冊以上 ・図書貸出冊数、全校で2万冊以上	・図書館支援員、副校長補佐、SSSによる、休み時間等の図書貸出の充実。			

<b>重点的な取組事項－3</b>		健やかな体の育成			
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>	
自らの健康と体力の向上を目指す児童を育成する。	目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目とも「おおむね達成」以上				
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>

体力や運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都の体力調査で「投力」「50m走」の項目で都の平均値以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持久走旬間、短縄・長縄旬間等の体育的行事の年間を通じた取組。</li> <li>・体力を高めるための環境作り。</li> <li>・休み時間の外遊びの励行。</li> </ul>			
体育の授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査の「体育が好き」の項目で90%以上の児童が肯定的回答</li> <li>・都の体力調査の数値向上(前年比)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通じた体育科授業における指導方法の改善と、運動に親しめる環境や用具の工夫。</li> </ul>			
保健指導・食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査の「食事」や「睡眠」等に関する項目で90%以上の児童が肯定的回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導や食育指導の充実。</li> <li>・養護教諭や栄養士と連携した授業の実施。</li> <li>・保護者会や各種便りを活用した保護者への啓発。</li> </ul>			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他(学校教育活動全般について)